

第6学年 学級活動(人権)学習指導案

1 主題 『自分だけの大切なところ』

2 主題設定の理由(省略)

3 ねらい

体と心には距離感があることや、それらが守られないとき取るべき行動、相談方法があることを理解し、安全な意思決定と行動選択をしようとする態度を養う。

4 指導計画

- ① 読み聞かせ「だいじ だいじ どこだ?」「いのちのまつり」
「いいタッチわるいタッチ」……………1時間
- ② 学級活動「自分も相手も大切にしよう」……………2時間(本時 2/2)
- ③ 学級活動「心と体を守る SNS の安全な使い方」……………1時間

5 本時の学習

(1) 目標

体と心には適切な距離感があることやそれを守るための行動を理解し、自分と同じように他の人も大切にしようとする意欲を高める。

(2) 普遍的な学習のテーマ 命の大切さ 個人の尊重
 個別人権課題名 犯罪被害者等

(3) 展開

学習活動	指導上の留意点
1 前時の学習を振り返り、プライベートゾーン以外にも嫌な気持ちになることがないか考える。	○自分の体は大切だということを確認し、生活の中などで嫌な思いをすることがないか考えさせる。
2 「ちょうどいい距離感」があることを知る。(パーソナルスペース)	○人それぞれ違うことを理解させる。 ○相手によって変わることを理解させる。
「ちょうどいい距離感」を守るためにはどうすればいいだろう	
3 相手と「ちょうどいい距離感」でいるた	○ロールプレイを通して互いの体と心を守る

<p>めにはどうすればいいか考える。 (ふれあいサイコロ)</p> <p>4 知らない人に、同意を求められたり、急に触られたりした時のことを考える。</p> <p>5 学習のまとめとふりかえりをする。</p>	<p>ための対処法を理解させる。</p> <p>○自分が相手の適切な距離感を越えてしまったときのことも考えさせる。</p> <p>○同意を求められても OK してはいけない場面でどうするかを考える。</p> <p>○ちょうどいい距離感を守ることで自分も相手も守ることにつながることを理解させる。</p> <p>○ふりかえりを書くときの観点を提示する。</p>
--	---

(4) 評価

・体と心には適切な距離感があることやそれを守るための対処法を理解することができたか。

【知識的側面】①

・自分と同じように他の人の体と心の距離感を尊重し意思決定や行動選択しようとする意欲を高めることができたか。

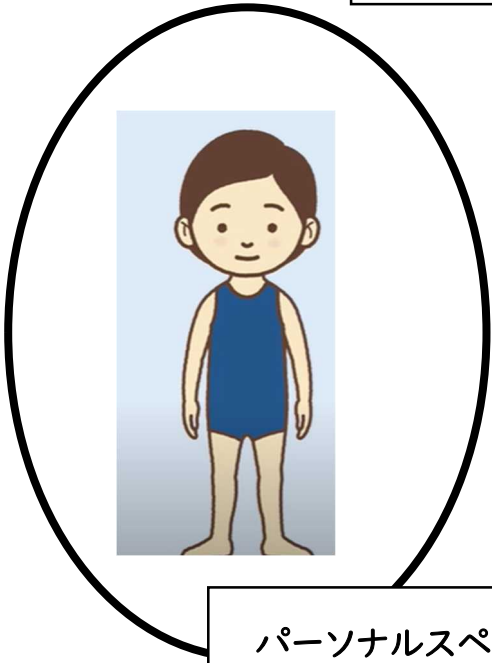
【価値的・態度的側面】②

・自分の考えを伝えたり、友達の考えを共感的に聞いたりすることができたか。

【技能的側面】③

「自分も相手も大切に」

① 「ちょうどいいキョリ感」を守るためにはどうすればいいだろう。



「ちょうどいいキョリ感」を守るために

- ・「やめて!」と言う
- ・「やめて」と言われたら受け入れる
- ・同意をえる

とくべつなとき!

- ・にげる
- ・大人に話す
- 先生・親



自分も相手も大切ににする



自分を守ることが一番大事